

ONCC 第 10 期 ミュージアムへいこう 12 月度 山王美術館と藤田美術館

事前学習 12 月 1 日

11 月に引き続き、愛知教育大学名誉教授 浅野和生先生から講義を受けました。先生は両美術館を下見され、JR 京橋付近の各美術館(いずれも今年リニューアル開館)の成り立ちや創業者の紹介などありましたが、明治維新の際の廃仏毀釈で美術品が海外流出するのを防ぐのが最初の目的だったようです。

山王美術館の「ベストコレクション展」のうちフランス近代絵画について、藤田美術館については、国宝の柴門新月図、紫式部日記絵巻など解説を受けました。

山王美術館へ 12 月 8 日 午前

JR 京橋駅西口で集合、徒歩 5 分で到着。待合室でガイダンスを受け静かに入場。まず 5 階の近代の日本画では上村松園、横山大観、東山魁夷、等々有名な作品を鑑賞、次いで 4 階ではフランス近代絵画でシスレー、ルノアール、モネ、ロートレック、等々の作品、3 階は「日本近代洋画の成立をめざして」をテーマに岸田劉生、梅原龍三郎、佐伯祐三、小磯良平、等々に加え永らく行方不明だった黒田清輝の野遊びが 127 年振りに公開された。

当館では撮影は禁止、さらにポスター、カタログなどほとんどが転載禁止なのでここに絵を記載できませんでした。外観と受付付近の許された写真のみ以下に記します。 次回は日本人に人気の藤田嗣治展だそうです



藤田美術館へ 12 月 8 日 午後

13 時に藤田美術館に集合 受付ロビーでガイダンスを受けました。明治の豪商 藤田傳三郎父子が収集した美術品が約 2000 件あり、うち 9 件が国宝、53 件が重要文化財とのこと。 今回のリニューアルでは旧施設の材料を再利用している。入場口はその蔵の扉である。



当館は撮影が許されている、イヤホンを小さい音でならスマートホンから利用できる
しかし、美術品はガラスで保護されて展示されているため、小生の技術では上手く撮影ができない。
幸いなことにホームページからいくつかを転載しておく。

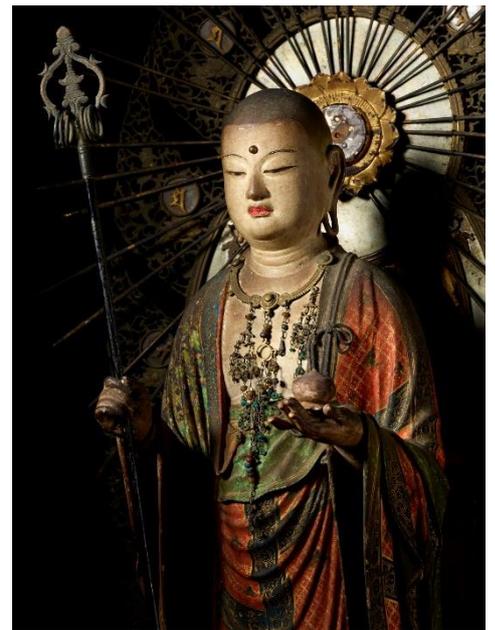


国宝 紫式部日記絵詞

国宝 柴門新月図



国宝 玄奘三蔵絵



重文 木造地藏菩薩立像

藤田邸跡公園

藤田美術館の出口はそのまま藤田邸宅跡公園につながっています。都会の中の日本庭園で回りにビルが多くたっていて異様ですが、紅葉も少し残っていて美術鑑賞後のいやしになりました。

